



2019年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年4月26日

上場会社名 愛知製鋼株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 5482 URL <https://www.aichi-steel.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤岡 高広
 問合せ先責任者 (役職名) 企画創生本部経理部長 (氏名) 中島 健太郎 (TEL) 052-603-9227
 定時株主総会開催予定日 2019年6月21日 配当支払開始予定日 2019年6月24日
 有価証券報告書提出予定日 2019年6月24日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期の連結業績 (2018年4月1日～2019年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	257,315	8.9	11,119	△5.9	11,324	△3.8	6,503	△20.5
2018年3月期	236,237	11.0	11,813	63.7	11,774	71.6	8,182	60.9
(注) 包括利益	2019年3月期		4,165百万円(△64.5%)		2018年3月期		11,745百万円(60.2%)	

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年3月期	330.38	—	4.3	4.0	4.3
2018年3月期	415.71	415.71	5.5	4.3	5.0

(参考) 持分法投資損益 2019年3月期 ー百万円 2018年3月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期	290,294	161,889	52.6	7,754.80
2018年3月期	275,315	160,806	55.2	7,716.77

(参考) 自己資本 2019年3月期 152,638百万円 2018年3月期 151,891百万円

※ 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を2019年3月期の期首から適用しており、2018年3月期の連結財政状態については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年3月期	13,580	△19,765	9,035	30,312
2018年3月期	13,164	△20,954	△9,509	27,439

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年3月期	—	50.00	—	70.00	120.00	2,361	28.9	1.6
2019年3月期	—	60.00	—	60.00	120.00	2,361	36.3	1.6
2020年3月期(予想)	—	60.00	—	60.00	120.00		38.7	

3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	128,400	3.8	4,800	△14.1	4,800	△18.1	3,000	△19.0	152.42
通期	262,000	1.8	10,000	△10.1	10,000	△11.7	6,100	△6.2	309.91

※ 注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
 新規 —社（社名）— 、除外 —社（社名）—
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期	19,886,675株	2018年3月期	19,886,675株
② 期末自己株式数	2019年3月期	203,634株	2018年3月期	203,416株
③ 期中平均株式数	2019年3月期	19,683,160株	2018年3月期	19,683,285株

(参考) 個別業績の概要

1. 2019年3月期の個別業績（2018年4月1日～2019年3月31日）

(1) 個別経営成績 (％表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	203,070	10.0	5,857	△27.0	7,342	△15.9	3,438	△51.0
2018年3月期	184,595	11.9	8,018	54.5	8,731	70.5	7,010	40.5
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2019年3月期	174.68		—					
2018年3月期	356.19		356.18					

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期	244,533	133,610	54.6	6,788.11
2018年3月期	230,446	134,264	58.3	6,821.27

(参考) 自己資本 2019年3月期 133,610百万円 2018年3月期 134,264百万円

※ 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 2018年2月16日）等を2019年3月期の期首から適用しており、2018年3月期の個別財政状態については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況

(4) 今後の見通し」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

2019年3月期より日付の表示方法を和暦から西暦に変更しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(表示方法の変更)	12
(セグメント情報)	12
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14
4. 補足情報	15
参考資料〔連結〕	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における世界経済は、米国と中国の貿易摩擦への懸念や中国経済の減速に加え、東アジアの地政学リスクなどにより不安定な状況が続いたものの、日本経済については、政府の経済政策を背景に緩やかな回復基調が継続いたしました。

当連結会計年度の業績につきましては、主力製品である鋼材・鍛造品の堅調な需要に支えられ、売上高は前連結会計年度（2,362億3千7百万円）に比べ8.9%増の2,573億1千5百万円となりました。

セグメント区分ごとの売上高は次のようになっております。

鋼カンパニー

主力製品である特殊鋼およびステンレス鋼の販売数量の増加と販売価格の値上がりにより、当連結会計年度の売上高は1,301億8千万円（前連結会計年度1,109億7千4百万円）と前連結会計年度に比べ17.3%増加しました。

鍛カンパニー

主力製品である自動車用型打鍛造品の販売価格の値上がりにより、当連結会計年度の売上高は1,092億1千7百万円（前連結会計年度1,073億5千2百万円）と前連結会計年度に比べ1.7%増加しました。

スマートカンパニー

磁石の売上の減少などにより、当連結会計年度の売上高は146億2千7百万円（前連結会計年度147億8千6百万円）と前連結会計年度に比べ1.1%減少しました。

その他事業

当連結会計年度の売上高は32億9千万円（前連結会計年度31億2千3百万円）と前連結会計年度に比べ5.3%増加しました。

利益につきましては、販売数量の増加や販売価格の値上がり、海外子会社の利益増等の増益要因があったものの、原材料・副資材・エネルギー価格の上昇や減価償却費の増加等により、営業利益は5.9%減の111億1千9百万円（前連結会計年度118億1千3百万円）となりました。また、経常利益は前連結会計年度（117億7千4百万円）に比べ3.8%減の113億2千4百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は前連結会計年度（81億8千2百万円）に比べ20.5%減の65億3百万円となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産は、受取手形及び売掛金の増加、有形固定資産の取得などにより、前連結会計年度末に比べ149億7千9百万円増の2,902億9千4百万円となりました。

負債は、借入金の増加などにより、138億9千6百万円増の1,284億4百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する当期純利益の計上などにより、10億8千3百万円増の1,618億8千9百万円となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度のキャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の増加60億4千3百万円などによる資金の減少がありましたが、税金等調整前当期純利益104億5千5百万円、減価償却費144億2千3百万円などの資金の増加があったため、135億8千万円の資金の増加となりました。また、投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出185億8千6百万円などにより、197億6千5百万円の資金の減少となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入130億円などにより、90億3千5百万円の資金の増加となりました。

その結果、現金及び現金同等物の期末残高は、前連結会計年度末（274億3千9百万円）に比べ28億7千2百万円増加し、303億1千2百万円となりました。

(4) 今後の見通し

今後の世界経済の見通しにつきましては、米国や新興国の景気は底堅く、国内経済も堅調な個人消費に支えられ、緩やかな拡大基調が継続するものと見込まれます。

特殊鋼業界においては、引き続き旺盛な需要が見込まれるものの、原材料・副資材等の購入品価格や物流費の上昇等による製造コストのアップが予想され、収益の確保・拡大には、より一層の企業努力が求められる状況となっております。

このような見通しのもと、2020年3月期の通期の連結業績は、売上高2,620億円、営業利益100億円、経常利益100億円、親会社株主に帰属する当期純利益61億円を見込んでおります。

次期の見通し、業績予想は、当社グループの予想に基づく判断によるもので、実際の業績は要因の変化により異なる場合が生じることをご承知おきください。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主のみなさまの利益の尊重を重要な経営方針としており、企業体質の充実・強化を図りつつ、計画的な事業展開により、企業価値の向上並びに配当政策の充実に努めております。

この方針のもと、配当金につきましては、将来の事業展開に必要な内部留保を確保しながら、業績、財政状態および配当性向等を総合的に勘案して株主のみなさまのご期待にお応えしていきたいと考えており、連結配当性向は30%を目安としております。

当期の配当につきましては、上記の方針に基づき、中間配当を1株につき60円実施しました。期末配当金は1株につき60円として、年間で1株につき120円とする予定です。

また、次期の配当は、当期と同額の1株につき120円の年間配当金を予定しております。

なお、これまでの内部留保につきましては、主に生産設備の拡充や研究開発、海外事業展開のための投資等に充当し、企業体質の一層の強化・充実に努めてまいります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性および企業間の比較可能性を考慮し、現状は日本基準で連結財務諸表を作成しております。

IFRS（国際財務報告基準）については、将来の適用に備えて準備を進めております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,678	31,003
受取手形及び売掛金	55,560	61,652
有価証券	154	154
商品及び製品	7,690	8,538
仕掛品	18,672	20,688
原材料及び貯蔵品	9,070	9,111
その他	2,113	2,138
貸倒引当金	△117	△59
流動資産合計	121,822	133,228
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	76,212	81,675
減価償却累計額	△51,083	△53,368
建物及び構築物（純額）	25,129	28,306
機械装置及び運搬具	295,605	308,598
減価償却累計額	△247,096	△255,993
機械装置及び運搬具（純額）	48,508	52,605
工具、器具及び備品	14,479	15,048
減価償却累計額	△12,447	△12,749
工具、器具及び備品（純額）	2,032	2,298
土地	14,195	14,213
リース資産	312	327
減価償却累計額	△178	△167
リース資産（純額）	134	160
建設仮勘定	10,967	7,587
有形固定資産合計	100,968	105,173
無形固定資産		
電話加入権	16	16
その他	737	1,776
無形固定資産合計	754	1,792
投資その他の資産		
投資有価証券	23,422	21,210
長期貸付金	216	163
退職給付に係る資産	25,160	24,015
繰延税金資産	1,811	3,052
その他	1,225	1,713
貸倒引当金	△66	△54
投資その他の資産合計	51,769	50,099
固定資産合計	153,492	157,065
資産合計	275,315	290,294

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,375	30,394
短期借入金	330	312
1年内返済予定の長期借入金	791	9
リース債務	62	62
未払法人税等	2,458	574
役員賞与引当金	226	177
その他	19,053	19,803
流動負債合計	51,300	51,334
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	26,194	39,296
リース債務	70	97
役員退職慰労引当金	538	501
退職給付に係る負債	15,663	16,357
資産除去債務	610	697
その他	130	119
固定負債合計	63,208	77,070
負債合計	114,508	128,404
純資産の部		
株主資本		
資本金	25,016	25,016
資本剰余金	28,016	28,016
利益剰余金	85,641	89,585
自己株式	△1,226	△1,226
株主資本合計	137,448	141,391
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,482	7,946
繰延ヘッジ損益	—	9
為替換算調整勘定	1,574	1,791
退職給付に係る調整累計額	3,386	1,499
その他の包括利益累計額合計	14,443	11,246
非支配株主持分	8,915	9,251
純資産合計	160,806	161,889
負債純資産合計	275,315	290,294

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
売上高	236,237	257,315
売上原価	200,924	222,212
売上総利益	35,313	35,103
販売費及び一般管理費	23,499	23,983
営業利益	11,813	11,119
営業外収益		
受取利息	44	49
受取配当金	433	493
受取賃貸料	61	62
固定資産売却益	17	106
物品売却益	34	30
補助金収入	211	9
保険差益	120	10
為替差益	—	160
雑収入	112	82
営業外収益合計	1,036	1,006
営業外費用		
支払利息	156	173
固定資産処分損	633	417
為替差損	122	—
雑損失	163	210
営業外費用合計	1,075	801
経常利益	11,774	11,324
特別利益		
固定資産売却益	596	—
投資有価証券売却益	—	59
特別利益合計	596	59
特別損失		
減損損失	—	928
特別損失合計	—	928
税金等調整前当期純利益	12,371	10,455
法人税、住民税及び事業税	3,495	2,773
法人税等調整額	△44	217
法人税等合計	3,451	2,990
当期純利益	8,920	7,464
非支配株主に帰属する当期純利益	737	961
親会社株主に帰属する当期純利益	8,182	6,503

連結包括利益計算書

	(単位：百万円)	
	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
当期純利益	8,920	7,464
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	845	△1,536
繰延ヘッジ損益	-	9
為替換算調整勘定	320	114
退職給付に係る調整額	1,659	△1,886
その他の包括利益合計	2,825	△3,299
包括利益	11,745	4,165
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	10,833	3,306
非支配株主に係る包括利益	912	858

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	25,016	28,016	79,427	△1,227	131,232
当期変動額					
剰余金の配当			△1,968		△1,968
親会社株主に 帰属する当期純利益			8,182		8,182
自己株式の取得				△1	△1
自己株式の処分			△0	3	2
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	6,213	1	6,215
当期末残高	25,016	28,016	85,641	△1,226	137,448

	その他の包括利益累計額				新株予約権	非支配 株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計			
当期首残高	8,635	1,430	1,726	11,792	7	8,241	151,273
当期変動額							
剰余金の配当							△1,968
親会社株主に 帰属する当期純利益							8,182
自己株式の取得							△1
自己株式の処分							2
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)	846	144	1,659	2,650	△7	673	3,317
当期変動額合計	846	144	1,659	2,650	△7	673	9,532
当期末残高	9,482	1,574	3,386	14,443	—	8,915	160,806

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位: 百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	25,016	28,016	85,641	△1,226	137,448
当期変動額					
剰余金の配当			△2,558		△2,558
親会社株主に帰属する 当期純利益			6,503		6,503
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	3,944	△0	3,943
当期末残高	25,016	28,016	89,585	△1,226	141,391

	その他の包括利益累計額					非支配 株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計		
当期首残高	9,482	—	1,574	3,386	14,443	8,915	160,806
当期変動額							
剰余金の配当							△2,558
親会社株主に帰属する 当期純利益							6,503
自己株式の取得							△0
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)	△1,535	9	216	△1,886	△3,196	336	△2,859
当期変動額合計	△1,535	9	216	△1,886	△3,196	336	1,083
当期末残高	7,946	9	1,791	1,499	11,246	9,251	161,889

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	12,371	10,455
減価償却費	13,818	14,423
減損損失	—	928
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△12	△70
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△1,011	△1,284
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	603	416
受取利息及び受取配当金	△478	△543
支払利息	156	173
為替差損益 (△は益)	114	△59
有形固定資産売却損益 (△は益)	△599	△93
有形固定資産処分損益 (△は益)	618	403
投資有価証券売却損益 (△は益)	1	△61
売上債権の増減額 (△は増加)	△8,020	△6,043
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△3,600	△2,805
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,699	1,960
未払消費税等の増減額 (△は減少)	574	△430
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△291	△8
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△2,316	596
その他	183	△150
小計	14,811	17,804
利息及び配当金の受取額	477	543
利息の支払額	△146	△175
法人税等の支払額	△1,978	△4,593
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,164	13,580
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	△127	546
有形固定資産の取得による支出	△20,261	△18,586
有形固定資産の売却による収入	673	170
有形固定資産の処分による支出	△466	△271
無形固定資産の取得による支出	△547	△1,484
投資有価証券の取得による支出	△302	△0
投資有価証券の売却による収入	15	104
貸付けによる支出	△27	△20
貸付金の回収による収入	81	74
その他	7	△298
投資活動によるキャッシュ・フロー	△20,954	△19,765

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△627	△16
長期借入れによる収入	3,104	13,000
長期借入金の返済による支出	△9,710	△798
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△71	△68
配当金の支払額	△1,968	△2,559
非支配株主への配当金の支払額	△236	△499
その他	0	△20
財務活動によるキャッシュ・フロー	△9,509	9,035
現金及び現金同等物に係る換算差額	7	22
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△17,292	2,872
現金及び現金同等物の期首残高	44,732	27,439
現金及び現金同等物の期末残高	27,439	30,312

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」の適用に伴う変更)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日。以下「税効果会計基準一部改正」という。)を当連結会計年度の期首から適用し、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示する方法に変更しております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」の「繰延税金資産」3,917百万円及び「固定負債」の「繰延税金負債」2,532百万円を「投資その他の資産」の「繰延税金資産」1,811百万円に含めて表示しております。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループはカンパニー制を採用しており、製品軸ごとに区分した各カンパニーにおいて、製造から販売まで一貫した事業企画・運営をするとともに、国内外子会社をカンパニーに振り分け、グループ一体での事業活動を展開しております。

したがって、当社は、「鋼(ハガネ)カンパニー」「鍛(キタエル)カンパニー」「スマートカンパニー」「その他事業」の4つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントに属する製品及びサービスは、次のとおりであります。

区分	主な製品及びサービス
鋼(ハガネ)カンパニー	熱間圧延鋼材、鋼材二次加工品、ステンレス構造部材、製鋼用資材
鍛(キタエル)カンパニー	型打鍛造品(自動車部品粗形材、機械部品粗形材など)、鍛造用金型加工品
スマートカンパニー	電子機能材料・部品、磁石応用製品、植物活性材、金属繊維
その他事業	子会社によるコンピュータソフト開発、物品販売、緑化

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、最近の有価証券報告書(2018年6月25日提出)の「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益であります。セグメント間の内部収益及び振替高は第三者間取引価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	連結財務諸表 計上額 (注2)
	鋼(ハガネ) カンパニー	鍛(キタエル) カンパニー	スマート カンパニー	その他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	110,974	107,352	14,786	3,123	236,237	—	236,237
セグメント間の 内部売上高又は振替高	36,640	—	—	11,945	48,585	△48,585	—
計	147,614	107,352	14,786	15,069	284,823	△48,585	236,237
セグメント利益	8,006	2,747	348	676	11,779	34	11,813
セグメント資産	135,080	82,384	21,536	6,639	245,642	29,673	275,315
その他の項目							
減価償却費	6,231	6,178	1,373	35	13,818	—	13,818
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	9,952	6,529	2,458	79	19,020	—	19,020

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

(2) セグメント資産の調整額は、提出会社の現金及び預金、投資有価証券等31,935百万円、セグメント間取引消去△2,262百万円であります。

2 セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	連結財務諸表 計上額 (注2)
	鋼(ハガネ) カンパニー	鍛(キタエル) カンパニー	スマート カンパニー	その他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	130,180	109,217	14,627	3,290	257,315	—	257,315
セグメント間の 内部売上高又は振替高	39,660	—	—	14,082	53,742	△53,742	—
計	169,840	109,217	14,627	17,372	311,058	△53,742	257,315
セグメント利益 又は損失(△)	9,245	1,057	△39	789	11,052	67	11,119
セグメント資産	147,542	84,048	21,746	7,318	260,655	29,638	290,294
その他の項目							
減価償却費	6,620	6,309	1,459	34	14,423	—	14,423
特別損失	915	—	13	—	928	—	928
(減損損失)	(915)	(—)	(13)	(—)	(928)	(—)	(928)
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	11,096	7,298	2,490	29	20,914	—	20,914

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

(2) セグメント資産の調整額は、提出会社の現金及び預金、投資有価証券等31,658百万円、セグメント間取引消去△2,020百万円であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
1株当たり純資産額	7,716.77円	7,754.80円
1株当たり当期純利益	415.71円	330.38円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	415.71円	—

(注) 1 当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下の通りであります。

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	160,806	161,889
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	8,915	9,251
(うち非支配株主持分)	(8,915)	(9,251)
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	151,891	152,638
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数(千株)	19,683	19,683

3 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下の通りであります。

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	8,182	6,503
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	8,182	6,503
普通株式の期中平均株式数(千株)	19,683	19,683
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(百万円)	—	—
普通株式増加数(千株)	0	—
(うちストックオプション(千株))	(0)	(—)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後 1株当たり当期純利益の算定に含めなかった 潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 補足情報

参考資料[連結]

1. 業績

(単位:千トン、百万円、%)

	前期	当期	増減額	増減率	次期予想	
	2018年3月期	2019年3月期			2020年3月期	増減率
売上数量	836	894	58	6.9	934	4.4
(単独)						
鋼カンパニー	836	894	58	6.9	934	4.4
鍛カンパニー	293	290	△3	△1.1	289	△0.4
合計	1,130	1,185	55	4.8	1,223	3.2
売上高	236,237	257,315	21,078	8.9	262,000	1.8
営業利益	11,813	11,119	△694	△5.9	10,000	△10.1
経常利益	11,774	11,324	△450	△3.8	10,000	△11.7
特別損益	596	△868	△1,464	-	-	-
税金等調整前当期純利益	12,371	10,455	△1,916	△15.5	-	-
親会社株主に帰属する当期純利益	8,182	6,503	△1,679	△20.5	6,100	△6.2
1株当たり当期純利益	415円71銭	330円38銭			309円91銭	
自己資本当期純利益率	5.5%	4.3%			-	
1株当たり配当金	120円00銭	120円00銭			120円00銭	
(うち第2四半期末配当金)	(50円00銭)	(60円00銭)			(60円00銭)	
期末配当金	(70円00銭)	(60円00銭)			(60円00銭)	
配当性向	28.9%	36.3%			38.7%	
設備投資額	19,020	20,914	1,894	10.0	25,500	
減価償却費	13,818	14,423	605	4.4	16,500	

2. 当期(2019年3月期) 営業利益の増減益要因(対前期比)

(単位:億円)

増益要因		減益要因	
1. 販売数量	3	1. 購入品価格	△153
2. 販売価格	114	(原材料 △93 ・鉄スクラップ △50 ・合金鉄他 △43 副資材・エネルギー △60)	
3. 収益改善活動 #	36		
4. 連結子会社の営業利益増	14		
		2. 減価償却費の増加他	△21
計	167	計	△174
差引	△7		

#第2四半期連結累計期間より、工場原価低減を含む収益改善活動の効果を「3.収益改善活動」に集約しております。

3. セグメント別売上高

(単位:百万円、%)

	前期(2018年3月期)		当期(2019年3月期)		前期比増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
鋼カンパニー	110,974	47.0	130,180	50.6	19,206	17.3
鍛カンパニー	107,352	45.4	109,217	42.4	1,865	1.7
スマートカンパニー	14,786	6.3	14,627	5.7	△159	△1.1
その他	3,123	1.3	3,290	1.3	167	5.3
合計	236,237	100.0	257,315	100.0	21,078	8.9

4. 四半期毎の業績推移

(単位:百万円)

	前期(2018年3月期)				当期(2019年3月期)			
	第1四半期 (4~6月)	第2四半期 (7~9月)	第3四半期 (10~12月)	第4四半期 (1~3月)	第1四半期 (4~6月)	第2四半期 (7~9月)	第3四半期 (10~12月)	第4四半期 (1~3月)
売上高	56,401	57,420	60,114	62,300	61,713	62,007	65,627	67,967
営業利益	3,977	3,067	2,783	1,984	2,701	2,889	2,348	3,181
経常利益	4,035	3,233	3,018	1,487	2,951	2,907	2,382	3,082
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,119	2,053	2,141	868	1,706	1,999	1,542	1,254